

神海丸 (Letter from the Chief Radio Operator)

時差 JST-21h

07時現在 N22-10 W174-40 天候 晴れ 気温 26.4℃ 針路 280° 風向風速 SSE 3.2m/s

凈ぎ良く、三崎へ向けております。現在体験当直を実施中！
日々の学習や船体整備など、皆頑張っています。

7時ですでに気温 26° を越えました。今年の2月は暑いですね～！ (失礼しました)
実習生全員体調を崩すことなく実習継続しております。他県では船内で感染症発症により運航計画を変更した船もあるようですが、神海丸実習生の健康管理はすばらしい～ですね。

【機関係実習生→航海当直体験】





【航海（漁業）系実習生→機関当直】



機関係専攻科生は、各種機器類の整備を行っています。この画像はラインホーラーですね。（マグロ延縄の幹縄を巻き上げる装置です）



航海系（漁業）専攻科生は、昼は太陽を、朝晩は星の高度を測定し船位を求めています。

航海計器が故障しても航行できる力を身につけます。航海学で大切なのは正確な位置（船位）を求めることです。



暑い（あちい）神海丸ですが、この天気を利用して船体整備が行われています。





船体整備や当直は交代で行われます。他の生徒は？
学習活動も行われているのです。専攻科生は日本に帰りたい・・・でも帰れば国家試験・・・頑張るしかない！てな気持ちだと思います。



これまで針路 270° で航行していた神海丸。現在 280° に変針、徐々に北上開始しました。神海丸は民間の気象・海象関連会社と契約し天候を確認するシステムも採用しています。
しかし最後はやはり船長↓の判断



海図をじっくり見つめる船長

Photo by

FUKUDA (Instructor)

MORI (Instructor)

AONO (Chief Radio Operator)